

志鷹 美紗さん (ピアノ/広島県呉市)



【経歴】(2023年4月現在)

- 2005年 桐朋学園大学音楽学部を首席で卒業
- 2007年 桐朋学園大学研究科を修了し、渡独
- 2007年～2010年
ロームミュージックファンデーション奨学生
- 2011年 ドイツ国立ベルリン芸術大学を卒業
エリザベト音楽大学非常勤講師就任
- 2015年 エリザベト音楽大学専任講師就任
- 2021年 エリザベト音楽大学准教授就任(現在)

【受賞歴ほか】

- 1997年 「第2回ホロヴィッツ記念国際ヤングピアニストコンクール」ディプロマ賞(ウクライナ)
- 2003年 「第10回21世紀にはばたくピアニストたちのサマーキャンプ in KAMISAIBARA コンクール」にて最優秀賞、併せてエモリー大学リサイタル賞受賞
米国アトランタにてデビューリサイタル
「第4回安川加壽子記念コンクール」第2位
- 2005年 NTTドコモ賞受賞
皇居内桃華楽堂にて御前演奏を行う
- 2006年 「ショパン国際ピアノコンクール in ASIA」コンチェルト部門全国大会金賞
- 2007年 「多摩フレッシュ音楽コンサート2007」ピアノ部門最優秀賞
- 2009年 「マコン音楽祭 ラストナイトコンサート」にソリストとして選出される(フランス)
「ブランク国際ピアノコンクール」特別賞(フランス)
- 2010年 「ブランク国際ピアノコンクール」特別賞(フランス)

受賞の言葉

志鷹美紗氏の演奏の特徴は、誠実で謙虚、そして安定感にある。特に、近年発表したショパン12の練習曲op.10とop.25全曲の演奏には、芸術性の高い素晴らしい内容が溢れている。

2014年から開始したYouTubeによる演奏動画の配信は、時代の流れを先取りしており、その数は実に50本もの数に積みあがっている。特に、ここ2年以上に渡って、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために多くの演奏家が活動の縮小や休止を余儀なくされてきた中においても、氏の演奏意欲は衰えることなく、動画配信による演奏活動は目を見張るものがあり、たゆまぬ努力がうかがえる。

また、アウトリーチ活動も盛んに行っており、文化庁主催「文化芸術による子供育成総合事業」へ2012年から登録アーティストとして参画し、次代を担う子どもの音楽・芸術体験に多大な貢献をしている。

氏は、これからも広島を拠点として、音楽・文化の普及と発展を牽引していく地域に根ざした演奏家・教育者であり、今後益々の活躍が期待されている。

この度「エネルギー音楽賞」という大変栄誉ある賞を受賞させていただき、心から御礼申し上げます。

私がピアニストになりたいという夢を持ったのは、ウクライナで開かれたピアニストのホロヴィッツを記念するコンクールに14歳で挑んだことがきっかけです。世界中から同じ志を持ってコンクールに集まってくるコンテスト達と、1カ月という長いコンクールの期間に言葉の壁を超えて友達となり、お互いに切磋琢磨しました。演奏を聴いてくださるお客さまは大変情熱的で、よい演奏には全身で喜び、あたたかい拍手と言葉をかけてくださいます。国や人種が違って、音楽は世界共通語なのだと、強く心を動かされる体験でした。

コロナ禍で、この3年間は次々とコンサートが延期や中止となりましたが、YouTubeでの音楽配信やCD制作に励んでまいりました。また、子どもたちに音楽の楽しさ、夢を持つことの大切さを伝えるアウトリーチ活動も、メンバーがドイツとカナダ在住という遠距離にもかかわらず10年以上続けていくことができました。今まで私の音楽活動を支えてくださった皆さまに感謝申し上げます。

これからも心に響く音楽をさまざまな形で世界に届けられますよう、日々一層の努力をいたす所存です。



アルバム



志鷹美紗ピアノリサイタル



小学校におけるアウトリーチ活動